

# 地域医療支援病院業務報告書

令和 5年 10月 5日

(申請先)  
横浜市長

申請者 住 所 神奈川県横浜市泉区西が岡1丁目28番地1

氏 名 社会福祉法人親善福祉協会  
理事長 水地 啓子

〔 法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電 話 045-813-0221

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

## 1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒245-0006 神奈川県横浜市泉区西が岡1丁目28番地1
氏 名	社会福祉法人親善福祉協会 理事長 水地 啓子

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

## 2 病院名

フリガナ	シャカイフクシホウジンシンゼンフクシキョウカイ コクサイシンゼンソウゴウビョウイン
病院名	社会福祉法人親善福祉協会 国際親善総合病院

## 3 所在地

〒245-0006 横浜市泉区西が岡1丁目28番地1 電話：045-813-0221
--

## 4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	287床	287床

## 5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 6床 ・救急カート2台 ・除細動器 (PHILIPS) Efficia DFM100 2台 ・ジャクソン回路各ベッド1式 ・体温管理システム (IMI) Arctic sun 1台 ・人工呼吸器 (IMI) Vela TYPE-D 4台、Savina300 4台 ・超音波診断装置 (GE) vivid S6 1台 ・血液ガス分析装置 GEMプレミア3500 1台 ・心電図モニター装置 8台 ・セントラルモニター (フクダ電子) ・呼吸循環監視装置 7台 ・輸液装置 15台 ・自家発電装置 1基
化学検査室	(主な設備) ・臨床検査システム APTIO Automatinon(シーメンスヘルシニアーズ)1式 ・生化学自動分析装置 BM6050(日本電子)2台 ・生化学自動分析装置 ディメンションEXL(シーメンスヘルシニアーズ)1台 ・免疫自動分析装置 ケンタウロスXPT(シーメンスヘルシニアーズ)1台 ・血液像自動分析装置 ADVIA2120i(シーメンスヘルシニアーズ)1台 ・凝固自動分析装置 コアプレスタ2000(積水化学)1台 ・自動グリコヘモグロビン分析計 HLC723G11(栄研化学)1台 ・輸血自動分析装置 Vision(オーソクリニカルダイアグノスティックス)1台 ・血液ガス分析装置 GMEプレミア5000(アイ・エル・ジャパン)1台
細菌検査室	(主な設備) ・細菌学自動分析装置 MicrpscanWaikaway40(ベックマンコールター)1台 ・血液培養装置 バクテアラート3D(ビオメリュージャパン)1台 ・遺伝子解析装置 AutoAmp(島津製作所)1台
病理検査室	(主な設備) ・密閉式自動固定包埋 VIP6(サクラ)1台 ・凍結切片作製装置 CM1950(ライカ)1台 ・自動染色装置 varistain gemini(サーモフィッシャー)1台 ・顕微鏡 BX-53(オリンパス)4台、80iTUQ 写真装置付(ニコン)1台
病理解剖室	(主な設備) ・解剖台 KA-DB(サクラ)1台 ・臓器写真撮影装置 MPS-8LX(杉浦研究所)1台
研究室	(主な設備) ・机 1台・椅子 1脚・電子カルテシステム・パソコン

講義室	室数 <u>2(1)室</u> 収容定員 <u>45(90)人</u>
図書室	室数 <u>1室</u> 蔵所数 <u>冊程度</u> 雑誌 <u>誌</u>
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 <u>1台</u> ストレッチャー、酸素吸入装置、酸素ボンベ 吸引装置、インバーター電源(300W 4口・1500W 2口)
医薬品情報管理室	【専用室の場合】          床面積 <u>14.2 m<sup>2</sup></u>

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率82%を上回っている	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	96.6%
	①紹介患者数	12,131人
	②初診患者数	18,848人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	20人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	6,216人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	55人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	96.5%
	⑦逆紹介患者数	12,115人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	46人	歯科医師	0人	看護師	64人
薬剤師	14人	臨床検査技師	21人	臨床工学技士	5人
診療放射線技師	15人	保健師	0人	看護補助者	2人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	一般16床、集中治療室6床
専用病床	0床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

### 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	232㎡	<b>別紙①参照</b>	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
集中治療室 (ICU)	249㎡		可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
放射線科	748㎡		可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
内視鏡室	186㎡		可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
手術室	700.4㎡		可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

### 4 備考

神奈川県救急告示病院 横浜市二次救急拠点病院A
----------------------------

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

### 5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

#### (1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	5,103人
	(4,097人)
上記以外の救急患者の数	3,242人
	(2,119人)
合計	8,345人
	(6,216人)

※括弧内は、初診救急患者数

#### (2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	0人
B：救急医療圏(2次医療圏)人口 <sup>※</sup>	3,768,363人
C：A/B×1,000 > 2	0

※2022年4月1日時点の人口

### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

### 1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	98施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	97施設
医療機器共同利用件数	4,673件
共同利用病床数	5床
共同利用に係る病床の病床利用率	24%

### 2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input checked="" type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他(栄養相談)	<input checked="" type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input checked="" type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

### 3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

### 4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	1件
	無	137件

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件－開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙2参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	14回
(2) (1)の研修参加者数	369人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(3) 研修指導者数	19人	

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂1	96.00㎡	(主な設備) パソコン、電子カルテシステム、プロジェクター、音響システム、テレビモニター、白板、飛沫防止アクリル板
講堂2	82.00㎡	(主な設備) パソコン、電子カルテシステム、プロジェクター、飛沫防止アクリル板
図書室	47.00㎡	(主な設備) 書籍、雑誌、パソコン、インターネット完備、電子カルテシステム、コピー機
研究室	7.60㎡	(主な設備) パソコン、机、椅子

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	管理部長	
管理担当者(役職名)	総務課長 医療情報課長	
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)	総務課:病院日誌(年度別分類)、当直日誌(月別分類) 薬剤部:処方せん(月別分類) 医療情報課:その他の諸記録、電子カルテシステム(患者ID順)	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室
	救急医療の提供実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域連携室
	閲覧実績	地域連携室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域連携室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	副院長兼地域連携部部長		
閲覧担当者(役職名)	地域連携室室長 地域連携室係長		
閲覧の求めに応じる場所	地域連携室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
別紙3参照	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
	「その他」記入欄
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	社会福祉士、看護師、事務員
患者相談件数	8,459件
患者相談の概要	
別紙4参照	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

### 1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構 一般病院2 3rdG:Ver.2.0 (2018年)		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

### 2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	・ホームページ ・病院広報誌「病院だより」 年4回発行		

### 3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	退院や転院に向けての調整は、入退院支援室が中心となり実施しています。入退院支援室に退院調整看護師(5名)社会福祉士(3名)が勤務。 ・患者の入院時より、退院後の在宅復帰に向けて訪問看護ステーション、地域ケアプラザや介護支援専門員など各種関係機関との連携に努め、必要な調整を行っている。 ・退院困難要因を有する患者について、退院に向けた意思決定を支援し、在宅医療を継続するための調整を行っている。 ・退院困難ケースを早期に把握し、院内外と協働しながら退院支援、調整を行っている。		

#### 4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳卒中地域連携パス</li> <li>・大腿骨頸部骨折地域連携パス</li> </ul>		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々のパスに関して地域連携の会にて紹介している。</li> <li>・脳卒中地域連携パスはパス連携施設と年3回の横浜市西部地区連携パス会議を行っている。コロナ禍により開催が出来ていなかったため今後は開催方法など工夫しながら連携を図っていく。</li> <li>・大腿骨頸部骨折地域連携パスはパス連携施設と年3回の地域連携パス担当者会議を行っている。</li> </ul>		

国際親善総合病院  
共同利用制度運用規則

# 国際親善総合病院 共同利用制度運用規則

2020年 4月 1日

## 第1 総則

### 1. 目的

この規則は、国際親善総合病院（以下「病院」という。）の施設又は医療設備を当院の近隣地域（以下「地域」という。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした共同利用（以下「共同利用制度」という。）のために開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とする。

### 2. 共同利用制度

共同利用制度の内容は、次の4種類とする。

- (1) 紹介患者診療型共同利用
- (2) 医療機器利用型共同利用
- (3) 研究部門利用型共同利用
- (4) 研修会等参加型共同利用

### 3. 紹介患者診療型共同利用等を利用する医師等の順守事項

紹介患者診療型共同利用において、共同利用制度の登録医（以下「登録医」という。）は、病院内において次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、地域医療連携室で受付を行う。
- (2) 病院が発行する携帯用登録医証を必ず着用し、必要に応じて病院が貸与する白衣等を着用する。
- (3) 病院内の諸規則を遵守する。

### 4. 医療事故等の対応

共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。

### 5. 報酬等

- (1) 共同利用制度を利用する登録医に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しないものとする。
- (2) 共同利用制度の実施に伴い運用規則に定めのない事項に関し疑義が生じた場合は、関係者協議により決定するものとする。

## 第2 医療機関等の登録

### 1. 事前登録

共同利用制度は、医療機器利用型共同利用及び研修会等参加型共同利用を除き、事前に登録を行わなければならない。

## 2. 登録名

共同利用制度の利用登録名は、医療機関名または医師名で登録する。

## 3. 登録の対象医療機関等

共同利用制度において登録できる医療機関又は保険薬局（以下「医療機関等」という。）は、地域に所在する医療機関等とする。

## 4. 登録の申請

- (1) 共同利用制度の利用登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」により病院長に申請するものとする。また、医師については医師免許証の写しも併せて提出する。
- (2) 病院長は申請内容を審査し利用登録を承認する場合は、「共同利用登録機関名簿」にその登録機関の名称、所在地、共同利用制度を利用する医師の氏名等を登録するものとする。

## 5. 登録医証及び登録機関証の発行

「共同利用登録機関名簿」に登録された医療機関等に対しては登録医証又は登録機関証を発行する。

## 6. 登録内容の変更

「共同利用登録機関名簿」に登録された登録医等の内容を追加又は変更する場合は、「登録医制度（変更・解除）申請書」により変更を行うものとする。

## 7. 登録医証等の返還

登録の必要が無くなった医療機関等は、「共同利用制度（変更・解除）申請書」により登録医解除の申請を行い、登録医証又は登録機関証を返還しなければならない。

## 8. 登録の取消

登録医等に医師としての品位を損ねるような行為等があったときは、病院長はその登録を取り消すことができる。また、看護師、薬剤師、その他の医療従事者において品位を損ねるような行為等があったときも同様とする。

## 第3 紹介患者診療型共同利用

### 1. 紹介患者診療型共同利用の内容

地域の医療機関から紹介され入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした診療型の共同利用をいう。

### 2. 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

### 3. 共同利用のための専用病床

当該共同利用のための専用病床を5床確保する。

### 4. 事前調整

紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ地域医療連携室に連絡し、病院内主治医と事前調整を行わなければならない。

## 第4 医療機器利用型共同利用

### 1. 医療機器利用型共同利用の内容

地域の医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが病院内の医療機器を共同利用することにより、検査後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした共同利用をいう。

### 2. 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

### 3. 対象医療機器

当該共同利用として利用できる医療機器の検査項目は、次のとおりとする。

- (1) 上部消化器内視鏡検査
- (2) 下部消化器内視鏡検査
- (3) 超音波検査（頸動脈・甲状腺・心臓・腹部）
- (4) ホルター心電図
- (5) 栄養相談
- (6) コンピューター断層撮影（CT）
- (7) 磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI・MRA・MRCP）

### 4. 事前調整

検査目的で紹介した患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ地域医療連携室に「FAX 検査予約依頼書」をFAXし、事前調整を行わなければならない。

## 第5 研究部門利用型共同利用

### 1. 研究部門利用型共同利用の内容

病院の研究部門の機能を登録医療機関等の医療従事者のために開放し、登録医療機関等の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要によりその研究活動に対し互いに連携し、その研究活動を進めるもので、地域の医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

### 2. 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関等に勤務する医師、看護師、薬剤師、その他の医療従事者とする。

### 3. 対象施設及び設備

当該共同利用を利用できる施設及び設備は、研究室及び図書室とし、整備されている備品についても共同利用の対象とする。ただし、個人情報に係るものは除く。

### 4. 利用方法

利用する場合は、あらかじめ地域医療連携室へ申し込みを行わなければならない。

## 第6 研修会等参加型共同利用

### 1. 研修会等参加型共同利用の内容

病院が行う研修・研究活動を地域の医療従事者に開放し、病院職員とともに研修・研究活動を進めるもので、地域の医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

### 2. 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関等に勤務する医師、看護師、薬剤師、その他の医療従事者とする。

### 3. 周知方法

病院で開催する研修の年間予定表及び各部門で開催する研修会をその都度周知し、参加を促進する。

## 第7 登録医等の掲示について

### 1. 院内掲示

登録された医療機関等の一覧表を外来に掲示する。  
ホームページへの掲載を行う。

### 2. 登録医療機関等の掲示

登録された医療機関等に登録証明証書を発行し、掲示できるものとする。

## 附則

### (施行日)

この規則は、2020年4月1日から施行する。



## 共同利用制度登録申請書

国際親善総合病院が行う共同利用制度については、施設又は医療設備を当院の近隣地域の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした共同利用のために開放し、地域医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的としています。

上記の目的を十分理解し、登録を申請いたします

年 月 日

医療機関名	
所在地	
医師氏名	
その他氏名	(看・薬・他)
登録	登録医証 ・ 登録機関証

## 共同利用制度（変更・解除）申請書

変更申請いたします ・ 解除申請いたします

年 月 日

医療機関名	
所在地	
医師氏名	
その他氏名	(看・薬・他)
登録	登録医証 ・ 登録機関証

共同利用制度登録医証

医療機関名

I D 番号

医師 氏名

登録機関証

共同利用制度登録機関証

医療機関名

I D 番号

その他職種 氏名

# 登録証明証書

No. 0000

共同利用制度登録医及び登録医療機関

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 様

2020年 ○月 ○日

国際親善総合病院 地域医療支援事業運営委員会

病院長 安藤 暢 敏

# 別紙

救急外来	<p>(主な設備) 診察室 2室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安静ベッド 4台</li> <li>・救急処置室</li> <li>・除細動器 1台</li> <li>・無影灯 2台</li> <li>・心電図 1台</li> <li>・呼吸心拍モニタ 5台</li> <li>・超音波診断装置 1台</li> <li>・パルスオキシメーター 4台</li> <li>・人工呼吸器 1台</li> <li>・持続注入ポンプ 4台</li> <li>・救急カート 1台</li> <li>・血液ガス測定器 1台</li> </ul>
集中治療室 (ICU)	<p>(主な設備)6床</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急カート2台</li> <li>・除細動器 2台</li> <li>・ジャクソン回路各ベッド1式</li> <li>・体温管理システム1台</li> <li>・人工呼吸器 8台</li> <li>・超音波診断装置 1台</li> <li>・血液ガス分析装置 1台</li> <li>・心電図モニター装置 8台</li> <li>・セントラルモニター</li> <li>・呼吸循環監視装置 7台</li> <li>・輸液装置 15台</li> <li>・自家発電装置 1基</li> </ul>
放射線科	<p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CT 2台 (64列、256列)</li> <li>・MRI 2台 (1.5テスラ、3テスラ)</li> <li>・血管造影装置 1台</li> <li>・診断用心臓電気刺激装置 1台</li> <li>・人工心肺装置 1台</li> <li>・電気メス 1台</li> <li>・マンモ撮影装置 1台</li> <li>・X線一般撮影装置 2台</li> <li>・X線TV撮影装置 2台</li> <li>・結石破碎装置 1台</li> <li>・骨密度測定器1台</li> <li>・外科用イメージ撮影装置3台</li> <li>・ポータブルX線一般撮影装置 4台</li> </ul>

<p>内視鏡室</p>	<p>(主な設備)内視鏡検査室 4室 リカバリー室 1室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急カート 1台</li> <li>・検査用ベッド 4台</li> <li>・リカバリー用ソファ 7台</li> <li>・自動血圧計 1台</li> <li>・生体情報モニタ 3台</li> <li>・高周波手術装置</li> <li>・アルゴンプラズマ凝固装置 4台</li> <li>・アルゴンガス供給装置 1台</li> <li>・内視鏡ビデオスコープシステム 3台</li> <li>・レーザー光源搭載内視鏡システム 1台</li> <li>・高輝度光源装置 1台</li> <li>・内視鏡用炭酸ガス送気装置 1台</li> <li>・上部消化管用スコープ 細経1台、拡大2台、汎用2台</li> <li>・下部消化管用汎用スコープ1台</li> <li>・上部消化管用ビデオスコープ 拡大2台、汎用5台、処置用2台</li> <li>・大腸ビデオスコープ 10台</li> <li>・十二指腸ビデオスコープ 3台</li> <li>・超音波内視鏡ビデオスコープ 1台</li> <li>・気管支ファイバースコープ 3台</li> <li>・ジェット式洗浄器 1台</li> <li>・内視鏡洗浄消毒器 3台</li> </ul>
<p>手術室</p>	<p>(主な設備)手術室 5室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術用ベッド 5台</li> <li>・手術用顕微鏡 2台</li> <li>・超音波手術装置</li> <li>・ポータブルX線装置 1台</li> <li>・全身麻酔器 6台</li> <li>・自己血回収装置 1台</li> <li>・電気メス5台</li> <li>・内視鏡下手術システム 5台</li> <li>・白内障手術装置 1台</li> <li>・手術用ドリルシステム 3台</li> <li>・血液ガス分析装置 1台</li> <li>・温風式患者保湿装置 5台</li> <li>・オートクレーブ 3台</li> <li>・ステラッド滅菌器 1台</li> <li>・EOG滅菌器 1台</li> </ul>

## 2022年度 地域医療連携室勉強会【活動報告】

## 学術講演会

日時	内容	参加人数
2022/4/14	・Total Renal Careにおける腎臓専門医の役割:腎臓・高血圧内科 ・生殖年齢期に原因不明の下腹部痛と診断されることが多い子宮内膜症の病態:産婦人科	21名
2022/6/9	・HITについて:循環器内科 ・大腸癌治療のUP-to-date:外科	41名
2022/10/13	・皮膚光線療法について:ゆめが丘ファミリー皮膚科 ・難治CDADに対して糞便移植が奏功した2症例:いずみゆめが丘内科クリニック	21名
2023/2/9	・肺癌診療と最近の薬物療法:呼吸器内科 ・脳外科の基礎知識:脳神経外科	26名

## 循環器カンファレンス

日時	内容	参加人数
2022/4/25	・症例検討 ・HFpEFについて:	22名
2022/5/30	・症例検討 ・新型コロナウイルスワクチン関連心筋炎～自験例をふまえて～:	25名
2022/6/27	・症例検討 ・今こそ心不全をレントゲンで診る-もしBNPがなかったら?!-	33名
2022/7/25	・症例検討 ・HITについて:	24名
2022/9/26	・症例検討 ・リードレスペースメーカ(Micra)について～当院で開始しました～:	19名
2022/10/24	・症例検討 ・PCAS管理:	24名
2022/11/28	・当院における症例報告のまとめ: ・虚血専門医が考える早期治療介入でのエンレストの重要性 横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター講師	25名
2023/1/30	・症例検討 ・sGC刺激薬(ベルイシグアト):	25名
2023/2/27	・症例検討 ・心臓血管外科領域の治療の現状-ご紹介患者様の報告も兼ねて- 横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター外科講師	20名

## 泌尿器科 学術講演会

日時	内容	参加人数
2022/6/29	・排尿障害を中心に泌尿器科診療について: ・当院のEndourologyの現状: ・国際親善総合病院におけるCOVID19診療の報告と、今年度の泌尿器科紹介:	43名

## 地域支援病院運営委員会開催内容

開催日 2022年8月5日

- 【内容】
- ・運営委員の変更
  - ・2022年度 当院の設備更新
  - ・JMIP 1回目の更新予定
  - ・登録医リスト院内掲示実施予定
  - ・救急車応需台数報告
  - ・勉強会開催報告

開催日 2022年11月9日（地域医療連携の会と合同開催）

- 【内容】
- ・「血管内治療について」
  - ・「良い画像を提供するために～放射線科の取組み～」
  - ・各診療科紹介
  - ・各医師会より

開催日 2023年1月（書面開催）

- 【内容】
- ・アンケート実施報告
  - ・WEB予約システム進捗状況
  - ・新型コロナウイルスに対する体制
  - ・MRI検査待ち日数対策について
  - ・勉強会開催報告

開催日 2023年3月（書面開催）

- 【内容】
- ・勉強会開催報告
  - ・年間予定
  - ・次年度診療体制について

## 患者相談実績（2022.4.1～2023.3.31）

- ・患者相談を行う場所 患者相談室、患者サポート室
- ・主として患者相談を行った者（対応者） 社会福祉士、看護師、事務員
- ・患者相談件数 8,459 件

## 患者相談の概要

内容	件数
情緒的問題調整	10
職業・学業問題調整	6
家族問題調整	32
生活問題(社会復帰調整)	740
院内調整	1
治療・療養生活への適応を促す援助	1535
看護相談	180
退院調整面談	3747
福祉関係法の利用	249
社会福祉施設の利用	667
他院紹介・当院入院相談	901
他法条例の利用	253
医療費支払方法の調整	54
医療費の減免	26
その他	58
合計	8459

## 諸対策

患者相談室に看護師長以下7名の看護師を配置するとともに、社会福祉士3名体制にて各病棟・窓口などに医療相談の担当者氏名、責任者と受付時間を掲示して患者さんが気軽に相談できる体制を確立し、患者さんの利便性を図っている。